

布施工科高校で出前講座

国交省からも見学に

関西鉄筋・近畿躯体・関西圧接が合同で開催

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）と近畿建設躯体工業協同組合（山本正憲理事長）、関西圧接業協同組合（濱野功理事長）は6月23日、東大阪市の大阪府立布施工科高等学校で3組合の合同による出前講座を開催しました。当日は、建築設備系建築システム専科の3年生37人が受講。生徒たちは1日かけて鉄筋の結束や型枠の組み立て、鉄骨建て方など躯体工事の一連の作業と圧接作業の見学、体験をした。

開講式では、最初に同校の植田篤司校長が「きょうはこの出前講座を通じて熟練職人のすばらしさとともに、仕事に対する責任や誇りを感じ取ってもらいたい」と挨拶。次いで、国土交通省土地・建設産業局の屋敷次郎建設市場整備課長が「実際に見て、体験することで普段学んでいるのとは異なったいろいろな気付きがあると思う。この講座をきっかけに皆さん自身の夢をふくらませてほしい」と激励しました。また、3組合を代表して挨拶した岩田理事長も「出前講座で皆さんを指導することで我々も新たに学ぶことも多い。きょう一日、楽しく一緒に勉強していきましょう」と呼びかけました。

この後、生徒たちは3班に分かれて、柱と壁の鉄筋結束と型枠の組立作業を行うとともに、クレーンを使った鉄骨建て方を体験。また、この間には圧接作業の見学及び体験も行われました。なお、今回の出前講座には国交省をはじめ、大阪労働局、大阪府中小企業団体中央会の担当者が視察、見学に訪れたほか、関西テレビも取材に来ました。

今回の出前講座に参加、協力いただいた組合関係者は次の通り。

- ・ 岩田理事長
- ・ 森山理事
- ・ 恵谷理事
- ・ 田村理事
- ・ 長木さん（長木鉄筋）
- ・ 職人4名（恵谷鉄筋2名、田村工業1名、長木鉄筋1名）

講座状況

